

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2024年12 月11 日 ～ 2024年12 月25 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 2 世帯	(回答者数)	3 1 世帯
○従業者評価実施期間	2024年12 月11 日 ～ 2024年12 月25 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 名	(回答者数)	4 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1 月10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・家庭での課題が大きい児童には、保護者と話をして個別に家庭での取り組みを行っていること	・日々の連絡帳でのやりとりや送迎時、モニタリングなどで保護者との話の中で、家庭での困り感が大きい時に、家庭、事業所との共通認識の基、家庭での個別の取り組みを行っている。	・家庭での困り感に対する解決方法を、支援者だけでなく保護者も考えて実践出来るようにしていく。そのためにも保護者学習会の充実を図る。
2	・家族支援として、保護者学習会を開催していること	・学習会に参加された保護者の方に家庭で取り組んでもらう課題を設定し、学習会で学んだ事を家庭で実践してもらうようにしている。また、次回の学習会で家庭で行った実践のフィードバックを行っている。	・保護者のみではなく、児童も参加する学習会を行い、学習会で学んだ事を家庭で般化出来るようにしていく。
3	・児童の発達状況により、グループの変更を検討したり、他グループと一緒に活動をしたりすることで、児童の課題解決や成長に向けて良いと思える環境を整えていること	・児童の課題解決や成長に向けて、適切だと思われるグループへの配置を行い、その後の児童の成長などによりグループの変更を検討している。	・引き続き、児童の発達状況に応じたグループの設定を行っていく。また、集団の課題、活動に応じたグループの設定も行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への周知が難しいこと	・周知の必要な事柄に関して、手紙の配布やコドモンでの配信を行っているが、見られていない方がいる。	・周知の仕方の検討を行う。 ・必要な情報を保護者が確認しているのか把握していく。
2	・事業所内の部屋に限りがある。	・放課後等デイサービスの使用できる部屋の数と大きさに限りがある。児童発達支援事業の部屋を使用できが、長期休暇中は、児童発達支援事業の利用児もいるため、使用出来ない部屋がある。	・使用できる部屋を最大限活動出来るようにしていく。
3	・事業所の利用対象児童の学年が決めている。	・特別支援学校の児童：1～3年 ・地域の小学校（知的クラス）：1～3年 ・地域の小学校（自・情、通常級）：3・4年となっている。	・長期的にみると新たな利用を希望する児童への受け皿の確保は出来ているが、療育の継続を希望している保護者もいるため、対象児童の検討を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 放課後等デイサービス
------	--------------------------------

公表日 令和7年2月14日

利用児童数 43名

回収数 31名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	80.6%	12.9%	0%	6.5%	・外遊びができる環境があるのか不明。中での遊びは工夫されていて楽しそうです。 ・色々な活動をしたよと教えてくれます。	・児童発達支援事業の園庭とつながっていますので、園庭を使用して外遊びや活動を行うこともあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	64.5%	9.7%	3.2%	22.6%	・こちらとしては適切。先生方に負担がないようにして欲しい。それが、ひいては子ども達のためになると思っています。 ・もう少し多くても良いような気がします。 ・他に行っていないので分かりません。	・国の定める人員配置基準以上の人員の配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	77.4%	0%	0%	22.6%	・構造についてほとんど知りません。見学など出来るありがたい。	・ぜひ見学にいらしてください。いつでも見学は可能です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	83.9%	0%	0%	16.1%	・整頓されて綺麗でした。 ・中のことはあまり分かりません。通りすがった時、綺麗に見えます。 ・すごく綺麗だよと聞きました。	・環境を整えることは児童の支援にも繋ると考えておりますので、整理整頓を心掛けています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・子どもの事をよく見て頂いており感謝しています。 ・子どもが楽しそうで行きたがる。送迎の際も的確な回答があり、そう思います。	・今後も児童の皆さんの特性を把握し、よりよい療育が提供できるように精進します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90.3%	0%	0%	9.7%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96.8%	0%	0%	3.2%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90.3%	6.5%	0%	3.2%	・いろんなことをやっていたいています。	・日々の活動プログラムは、利用児童の集団での様子や個の様子を見た上で毎月活動を設定しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16.1%	12.9%	19.4%	51.6%		・限られた時間の中で活動を行っていますので、設定することは難しいですが、ご要望があれば個別に検討をします。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	93.5%	3.25%	3.25%	0%	・もう少し詳しくして欲しい。	・支援計画の説明を具体的にしっかりと行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	93.5%	0%	0%	6.5%	・子どもを含めたペアレント・トレーニングがしたい。	・毎月1回、保護者学習会を開催しています。来年度も開催を予定していますので、ご参加頂ければと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	96.8%	3.2%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	80.6%	9.7%	0%	9.7%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90.3%	0%	0%	9.7%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	38.7%	16.1%	16.1%	29.0%	・大変だとは思いますが、きょうだい向けのイベントも開催してくださると嬉しいです。 ・送迎の際に親御さんと話せる。 ・勉強会に出ると少し話せる。	・来年度の行事として検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	87.1%	0%	3.2%	9.7%		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	3.3%	0%	6.7%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90.3%	0%	0%	9.7%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90.3%	6.5%	0%	3.2%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	83.9%	0%	0%	16.1%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67.7%	0%	0%	32.3%	・避難訓練をやったことをほとんど覚えていないけどやった気がすると言っています。	・年2回、避難訓練を行、放デイ日よりでもお知らせしています。引き続き、周知出来るように努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	83.9%	0%	0%	16.1%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	71%	3.2%	0%	25.8%	・起きていないので分からない。 ・お迎えの時などに、何かあったら伝えていただいていると思います。	・速やかに保護者の方と連絡をとり、対応していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	96.8%	3.2%	0%	0%	・素を出して過ごさせていて、安心して楽しく過ごしている様子だと思います。ありがとうございます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	87.1%	9.7%	0%	3.2%	・毎回楽しみに通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	96.8%	3.2%	0%	0%	・苦手だと思っていたことが上手にできているとお話に聞いたり、成長を感じます。安心して過ごせる場所があることが私も嬉しいです。ありがとうございます。 ・現在の支援に満足しているため、中学生以降も続けて欲しいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 放課後等デイサービス		令和7年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・状況によっては狭い時もあるが、2階の部屋や児童発達支援事業の部屋を使用するなどして対応している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・法廷基準は満たしているが、ヘルプが必要な時には、法人内で要請し対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	・玄関に段差はあるが、現状は問題はない。また段差が難しい利用児童がいる場合には、児童発達支援側の入口がスロープになっているため、対応可能である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日、利用する児童の状態により環境を整えている。また、児童の降所後に掃除をして部屋を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・児童からの申し出や児童の様子を見て個別の部屋が必要であると支援者が判断した場合に使用出来るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・意見がある場合に、言いやすい環境を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	・第3者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・法人開催のフォーラムや外部の研修に参加する機会を設けている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	・必要に応じて、集団活動と個別の対応を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 ・児童の状況によりグループの変更や他グループと一緒に活動を行う機会も設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎日、朝礼時と活動前に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・必ず次の日の朝礼にて話し合いを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・送迎に行っている学校と連絡（連携）を取り合い、何かあればその都度、話し合いをしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	・必要に応じて、電話での連携を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	25%	75%	・現在、該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%		・きょうだい同士で交流する機会を今年度は設けることが出来なかったため、来年度はイベントを開催するなど検討をしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	・活動の場は設定していないが、外出活動先で関わりはある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	・代表者が参加しており、後日報告を受けている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・年に9回、土曜日に保護者学習会を開催している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に丁寧な説明を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		・きょうだい同士で交流する機会を今年度は設けることが出来なかったため、来年度はイベントを開催するなど検討をしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	・児童の安全面から難しいと考える。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・年に2回、非常時に対する訓練を行っている。また、児童発達支援事業とおおぎりとの合同訓練も年に1回実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・訓練等を行った際に、コドモンにて配信を行っているが、保護者の方に周知して頂けていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		